

## 平成 29 年度第 1 回幕別町総合教育会議議事録

1 開催日時 平成 29 年 6 月 23 日（金）午後 3 時 10 分開会 午後 5 時 15 分まで

2 開催場所 幕別町百年記念ホール学習室

3 出席委員（6 名）

幕別町長	飯田 晴義
幕別町教育委員会教育長	田村 修一
教育委員	小尾 一彦
教育委員	瀧本 洋次
教育委員	國安 環
教育委員	東 みどり

4 欠席委員 無

5 日程

1) 開会

2) 挨拶

3) 意見交換

- ・ 札内地区のプールについて  
（札内地区 3 施設のプールの現地視察）
- ・ 幕別町内の高等学校の再編統合について

6 事務局出席者

幕別町企画総務部長	山岸 伸雄
政策推進課長	山端 広和
政策推進課副主幹	鯨岡 健
幕別町教育委員会教育部長	岡田 直之
学校教育課長	高橋 修二
生涯学習課長	石野 郁也
学校給食センター所長	宮田 哲
図書館館長	林 隆則
学校教育課総務係長	中山 仁
学校教育課学校教育係長	岡田 篤
生涯学習課社会体育係長	甲谷 英司

7 会議の概要

山端課長

定刻になりましたので、ただ今から平成 29 年度第 1 回幕別町総合教育会議を開催いたします。はじめに飯田町長、挨拶をお願いいたします。

飯田町長

皆さんこんにちは。教育委員会会議に引き続き大変ご苦労さまです。今、第 2 回定例会が開催されており 20 日、21 日に一般質問がございまして、今回、教育委員会に対して多くの質問をいただきました。そのなかに、温水プールもありましたが、ふるさと館と蝦夷文化考古館をどのようにしていくの

かなど、今まさに教育委員会が抱えている課題についての質問がありました。今回は、温水プールについて、視察し認識を深めていきたいと思います。また、合わせて4月14日に高校再編について、北海道教育委員会の柴田教育長へ要望いたしました。それについてのお話をさせていただきたいと思っております。限られた時間ではありますが、忌憚ないご意見交換ができればと思います。どうかよろしくお願いいたします。

山端課長

本日の意見交換(1)の次第にあります札内地区のプールにつきましては、意見交換を図る前に現地視察を行い、3か所のプールを見ていただいた後に会議を再開いたします。

飯田町長

それでは、一度会議を中断いたしまして、現地視察を行います。よろしくお願いいたします。

会議中断(午後3時15分から4時15分まで)

飯田町長

それでは会議を再開させていただきます。次第の3番、意見交換になります。配布している資料については私が試算したのですが、今後10年から15年の間に教育委員会が所管する施設の建替えや大規模改修が予想されるなかで、プールや資料館の建替えや統合について考えなければならないことから、資料を配らせていただきました。学校関係で昭和50年代に一齐に整備されたものが大規模改修の必要な時期になることから、約50億円が必要になってくると思われまます。社会教育施設については、札内スポーツセンターや忠類体育館の建替え時期がもうすぐやってくるだろうと考えています。そして、今回の札内地区の3つのプール、ふるさと館と蝦夷文化考古館の改築があり、合わせて80億円を超える事業費になることが予想されることを認識したうえで個別の議論を行いたいと思います。まず、札内地区のプールについてです。先ほど視察をしてきましたが、札内東プールについては老朽化が著しく、床に亀裂が入っているなど安全面でも多少問題があるかと思われまます。その中で、プールの整備計画・建設計画について、まだ構想段階かと思われまます。事務局から説明をお願いします。

石野課長

それでは私の方から資料の1、札内地区のプールにつきまして、ご説明を申し上げます。現在、札内地区には3か所の町民プールがございますが、特に札内東町民プールは建設から約50年が経過しており、老朽化がかなり進んでいる状況にあります。現施設の概要、開設日数、利用人数につきましては、資料に記載されているとおりとなっております。利用者の年齢層内訳については、小学生が9割を占めており、そのうち授業での利用が半数以上となっております。次に札内地区のプール整備計画につきまして、これまでは札内東町民プールを単独で建替える計画でしたが、他の2か所のプールも建設から約30年経過しており、近い将来に建替えの検討が必要な時期となることから、建設コストや維持管理経費を考慮し、統合して札内地区に一つのプールとすることも並行して検討しております。統合する場合の建設計画の原案といたしまして、面積が約1,900㎡の通年開設できる温水プールを考えており、基本設計業務から旧施設の解体工事までの合計で12億5,000万円の事業費を見込んでいます。2ページになりますが、財源について、これまでの町民プールではなく、学校プールとして建設する予定で、文部科学省の

公立学校施設整備費補助金 1 億 7,000 万円と、地方債 9 億 6,000 万円を見込んでおり、一般財源からは 1 億 2,000 万円の予定であります。なお、地方債につきましても、公共施設最適化事業債を予定しており、返済に係る元利償還金について 50%の交付税措置がございます。建設場所につきましても、統合後の送迎を考慮し、児童数の多い札内南小学校に隣接している、札内南コミュニティセンター南側駐車場の西側を候補地として予定しております。教育委員会で考えている最短での建設スケジュールにつきましても、平成 30 年度に基本設計・実施設計、平成 31 年度に着工、平成 32 年度にはオープンしたいと考えているところでございます。私からの説明は以上でございます。

飯田町長

かなり具体的な財源や建築年度などの数字を含めた説明でしたが、あくまでもたたき台のひとつとして、参考までに捉えていただきたい。いつ建設するか、どのくらいの事業費にするか、どういう施設内容にするのかについては、3 ヵ年実施計画に載った段階で精査をしていくこととなります。今回の議会でも、学校プールなのだから各学校にあるべきなのでは、という意見もありました。また、このような考えを持つまでの間にもっと住民から意見を聞いた方がよいのではないかと指摘もありました。何もなければ話し合いにもならないので、内部的にひとつたたき台をもって議論してみようというのが今の段階かと思っておりますので、自由にご意見をいただければと思います。まず学校プールとしての財源を活用するということでありまして、基本は学校にということですが、最近の建て方を見ますと帯広市では、拠点施設として 5・6 校を集約し、1 か所を共同利用と利用期間を通年にする一方で、長い期間使えるよううまく授業に組み込んでいます。あるいは一般の方の利用に供するという考え方の中で帯広市は実施していますが、これもひとつの考えであろうと思っております。また、学校プールなのだからそれぞれの学校に設置することもひとつの考えであろうと思っております。ただ、使用期間をどのぐらいにするのかということもありますし、授業だけで考えていいのか、町民プールの役割を持たせた中で供用するのか、様々な考え方がありますので難しいと思っております。

小尾委員

先ほど 3 か所のプールを視察させていただきましたが、その中で札内東プールは、老朽化が目立つ面がある。大切なことは児童・生徒が安全にプールを利用するというのが一番重要で大切だと思います。また、維持費などから三つのプールをどのようにしていくのが課題だと思います。ただ、先ほど町長も話されましたが、学校教育でプールが必要となりますが、町民が利用できるプールの期待感がここ数年で高まっているということも実感しています。いずれにしてもどれだけ施設が安全に利用できるかということを考えますと、私個人としてはある程度の時期に進めて行くのが妥当ではないかと思っております。三つのプールを一つに絞ったほうがよろしいのではないかと感じております。

東委員

先ほど見せていただいた場所に新しいプールを建設した場合、小学生が自転車で百年記念ホール付近から文京地区に行くとなると、時間がどのくらいかかるか知りたいと思っております。

田村教育長

自転車で約 10 分、大人で歩くと 20 分、文京町から歩いて札内駅まで 12 分くらいかかります。

- 東委員 10分、15分かけて自転車で行くことを苦に感じないのなら、施設が少ないほうが維持管理費用も掛からなく、1か所にまとめてプールを建設する案でしっかりとした施設を建てるのがよいと思います。
- 田村教育長 今回一般質問に答えるかたちで話をさせていただいたのは、学校の近くにある学校のプールを使えるだけ残して欲しいとの質問で、その中での質問に対して、1か所での建設した場合は、授業でのスクールバスの送迎や夏休み期間中のスクールバス運行など、1日1・2回学校とプールを往復することなどを考えなければならないとお答えしています。ただ、放課後の利用をどうするかが課題となるところでもあります。帯広市の場合は、放課後に子どもたちのプール利用はなく、授業のあとは機械の点検と管理人の休憩で5時半から再開する。再開後は、親子での利用や社会人の利用となっています。
- 飯田町長 水泳を競技として取り組むとなれば、放課後も練習することになりますし、帯広方式では答えられなくスイミングスクールに行くと思われれます。
- 田村教育長 放課後のプール利用は、白人で10人程度、札内南で平均すると1日30人程度です。ほとんどがスイミング競技の練習ではなく水遊びにきています。一つの考え方としてこれは認知された考え方ではありませんが、コミバス路線をプールと往復しやすいような路線に見直すことなども一つの方法と考えています。また、十勝管内でプールを統合しているのは芽室町と帯広市で、音更町は学校プールを全校設置しています。
- 瀧本委員 私の個人的な考え方になりますけれど、事業を実施するには財源が必要で、その事業の実施には内容によっては町の財政も大きく圧迫することもあるかと思っています。その中で学校教育のプールや生涯学習の町民プールであっても、地域と共にあるべきだと思っております。少子高齢化の社会の中、町のあるべき姿を描くというのはすごく難しい状況であると考えます。幕別町には多くの音楽関係、アスリート、プロ野球の選手がいます。環境をつくることによってそのような子どもたちが育ち、そして地域の方が一緒になって育てていくなど、幕別町にはいいところがたくさんあると感じています。プールにおいても、大会を開催できるくらいの内容を持った施設、そのくらいのものを造らないと未来を担う子どもたちの環境づくりにならないのではないかと思います。地域の子子どもたちが育つのに一助となるような施設でなければならぬと感じますし、未来を担う子どもたちと町民に有効な施設になることが望ましいと思います。
- 飯田町長 自分の町でどこまでの施設を持つのか、あるいは、一定以上のものを超えるときには広域行政の中で役割分担において行うのか、そこが難しいところでもあります。プールであれば大会が開催できる50mプールが帯広市にあるわけですが、それでも大会が開催できる公認コースの条件をクリアしましょうという考え方もあります。
- 瀧本委員 補助金の関係で学校プールでという考え方で進んでいますから、今後どのようになるのか分かりませんが、利用していただける方、活用していただける方々が、有効に使えるよう目的・目標を持って使ってもらえる施設であるべきだと感じます。

飯田町長	帯広市は学校プールで建設していますので、どこまで使用可能かなど使用時間や一般利用について説明をお願いします。また、期間と使用時間、利用の対象として学校以外の一般人がどこまで認められるのかを含めてお願いします。
石野課長	一般の方の利用については、授業をしていない日が午前10時から午後9時までと授業をしている日は、午後6時から午後9時までが一般利用となります。年間での利用となりますが、保守点検のため2月から3月の期間はメンテナンスの関係で閉鎖しているとお聞きしています。
飯田町長	一般の方の利用が、午後6時から9時まで泳げるとなれば十分と思われます。休みの日の一般の方は、午前10時から午後9時まで使えるということですね。長期休業中はどのようになっていますか。
田村教育長	夏季休業中も使えます。実際に今年、プールのある豊成小学校の教頭先生が明倫小学校の教頭先生として赴任してきました。話を聞きますと夏休みなどは、子どもと大人の泳ぐレーンを分けて設定し、泳いでいる途中でも子どもたちとの衝突等はないとお聞きしました。教育委員会がこの原案を考えたのは先ほど瀧本委員が言われたとおり、学校教育だけでなく、生涯学習ということも含めて一般の方の利用を考慮しています。特に豊成小学校や啓西小学校に札内から大人の方が夜に通い利用していると聞いていますので、そのような町民からは地元であってほしいなという声があり、財源として補助金のある学校プールで提案しました。
飯田町長	幕別のプールの利用人数を教えてください。
田村教育長	幕別は夜までやっているから一般の利用人数は多いです。
石野課長	幕別プールの利用人数は、平成28年度5,885人で、その内一般利用は1,902人です。
飯田町長	札内は一般利用がない状況とのことですね。
岡田部長	一般利用のあるのは幕別本町の町民プールだけです。
田村教育長	帯広市や音更のジョイフィットに札内の方が行っている状況にもあります。
國安委員	先ほど東委員が話されたようにプールへ通う子どもたちの距離が気になりました。教育長が話されたコミバス利用などを当初から視野に入れ、通い方も含めた建設が望ましいと思います。また、今日のように暑い日には子どもたちがプールへ集まりますので、そのときにあまり窮屈になって危なくなるような施設では困ります。ある程度大きさやルールなども考慮し、人数が多いときは午前と午後で地域分けをするなどの見通しも必要と考えます。札内でのプール建設は多く皆さんが期待していますし、喜ばれる施設だと思います。幕別温泉の温水プールがなくなったときのショックが大きかったですし、札内からプールがなくなった感じで一般の人にしても小さい子どもと一緒に入れるプールなくなったという思いがあります。お母さんと子どもと一緒に泳ぐことのできるプールになれば、夢も広がると思います。

飯田町長

自由なかたちで意見を述べていただきました。今回の会議で意見を統一するものではありません。また、今後も繰り返し話題にしたいと思います。皆さんも町民の方から、多く意見を聞いてもらいそれを交えて議論をできればと思います。プールについては、これで終わりにさせていただきます。

飯田町長

次に2番目の幕別町内の高等学校の再編統合について、説明してください。

高橋課長

それでは2点目の幕別町内の高等学校の再編統合につきまして、お手元に配布しております資料2と別冊の公立高等学校配置計画案をご覧くださいと思います。この配置計画案につきましては、去る4月14日に飯田町長から北海道教育委員会に対しまして、町内の幕別高校と多田学園江陵高校の再編統合について要望を行い、その後4月22日に帯広で開催されました公立高等学校の配置計画地域別検討協議会におきまして、田村教育長からも再度要請を行ったところです。また、6月1日にも飯田町長が北海道教育委員会を訪れまして再度要請を行ったところであり、北海道教育委員会から6月6日に平成30年度から32年度までの配置計画案が示されたところがあります。

資料2の概要の表の一番上の部分と配置計画案28ページの中ほどになりますが、学校名は幕別と記載をされている区分をご覧ください。北海道教育委員会が6日に公表した計画案の内容といたしましては、幕別高校については、幕別町所在の私立江陵高校が募集停止となることなどを考慮し、平成31度に2学級増の3学級とすることで、31年度入学者から私立江陵高校の校舎を使用するといった内容です。配置計画案では、設置学科は検討中であると示されたところがあります。今回の町内高等学校の再編等が配置計画案に位置づけられたことは、大きな前進であると考えておりますが、1学年4学級の高校という本町からの要望の実現に向けて、本計画案が決定する9月まで要請活動を引き続き進めてまいりたいと考えています。なお、この配置計画案につきましては、公立高校を対象していることから、私立の高校については言及できないないということで、北海道教育委員会においては、江陵高校の募集停止に伴い生徒の進学先を確保するため、幕別高校を学級増としたものであります。ただ実情は統合と言うことになろうかと考えております。説明につきましては以上でございます。

飯田町長

配置計画案を見ると、新聞報道もそうですが、一般の方から見ると平成31年に幕別高校2間口増加に見えます。実は私たちの要望というのは、「新たな4間口の道立高校普通科の道立高校をつくってください。平成31年開校をお願いします。」という内容で、課長から説明がありましたが要求は4間口でありました。結果的に6日の北海道教育会議で決定されて一間口減での配置計画案となっています。9月に案が決まるまで、地域をあげて4間口獲得できるようにお願いしていきたいと思います。今までの江陵高校が実践している福祉課程も生かしてほしいし、進学も目指してほしいし、あるいは医療系に進むそういった子どもたちも育ていく、そして幕別町は5人の現役オリンピック選手もいるのでスポーツと言う特色も出してほしいと思います。3間口になることによって、自由度合いが狭まるということを危惧しています。これから道教委がたたき台を作って、そして幕別高校の先生方と江陵高校の先生方で準備室なるものを作られ教育課程を作っていくと思います。

田村教育長 道教委から今後の日程調整を今月に一度実施したい旨の連絡がありました。

岡田部長 来週、6月28日ですが、道教委がこちらに来て今後について打合せをさせていただき連絡がありました。その際に幕別高校と江陵高校にも訪問するという話をされておりました。

飯田町長 それは一堂に会するということですか。

岡田部長 一連の打合せです。

飯田町長 教育課程担当者が来るのですか。

岡田部長 新しい高校づくり推進室の担当者が来ます。

田村教育長 この後9月に向けて、何とか4間口を確保するというお願いをしていかなければと思っております。3クラスと4クラスでは教員の数が違います。多様な自由度のある授業の取組は、教員数で制限されてしまうことがあります。

飯田町長 これに関して何か意見ありませんか。

小尾委員 31年からスタートし始めるわけですが、希望する生徒さんにしてみますとどのような視点で新生幕別高校を選択するのかが、一番肝心なところであり、いかに印象付けるかがこれから進めていく上で重要なことと思います。

飯田町長 教育課程で他校との差別化、特色を持たせるということが重要になります。幕別町が誇れるのは5人のアスリートがいるところでもあります。アスリートが直接指導、あるいは彼らが指導するのではなくても、彼らを通じて授業を受け持てる人を町として呼ぶことも必要と考えています。

田村教育長 魅力ある学校を作っていかなければならないと思います。

小尾委員 新しいイメージが必要と考えます。

飯田町長 通学費補助とか目先のものではなく、その学校の魅力が必要になります。足寄町では、町が塾を行っている事例もあります。

小尾委員 管外からも入学したいと思われる学校づくりも必要となります。

田村教育長 そうようなアイデアを皆さんに教えて頂きたいと思います。

瀧本委員 道教委が指針をだされ、町として今後どういう支援ができるのか、話しの中での重要なポイントで、教育委員会・町・議会・地域の方々と同じ方向を向いて進めていくのが大事だと思います。その中で、当然教育的な面での4間口の考え方もありますが、地域経済を考えたときの4間口も大きいものがあると思います。江陵高校の校舎に入るまで、駅からの距離や築年数の関係から建替や大きな改築が予想されます。今の段階から学生の募集や環境を町として打ち出すなど、魅力の発信を含め必要と感じています。当然魅力ある

環境のお手伝いをするという意味では、多くのことを模索し考えて行かなければならないと思います。町内の子どもたちがその学校に入りたい、そして近隣の子どもたちがその高校に魅力を持って行きたいと言ってもらえる学校づくりが大事ではないかと思います。

飯田町長

今まで2校での予算付けでしたが、1校になると思い切ってやれる可能性があります。

瀧本委員

近い将来の建替えという問題は、町内の小・中学校もそうですが、子どもたちが古い学校に魅力を感じて選択していただけるか、新しく綺麗な環境で学びたいと思うのではないかと感じます。そのようなことから形から入るということも要素としても大事ではないかと思います。駅から歩いて登校できる距離や経済効果も得られる場所が望ましいと思いますが、今の場所だと歩いていくにも距離があり辛い坂道を歩かなければならないなどの環境で、果たして選択してくれるのだろうかと感じています。

飯田町長

確かに古いより新しい方がいいと思いますが、当面は10年から15年間は使用し、その中で修繕などが行われて行くことと思います。通学の関係は、町の役割になると思いますがスクールバスの利用といった支援などを考えなければなりません。

小尾委員

高校での学校給食はどうですか。

飯田町長

そのようなこともあります。給食センターで作れるのが3,000食であり、現在2,850食作っていますので余裕が150食しかない状況です。

國安委員

外枠も大事ですが、最初にどのような教員が勤めるのかが非常に重要なことではないかと思います。

飯田町長

教員は数年勤務後異動します。生徒がその教員についていき希望者がそこに集中するとお聞きしました。それは、ブラバンなのかスポーツなのか分かりませんが、素晴らしい指導者に子どもがついていくことは非常に重要なポイントではないかと思いました。素晴らしい指導は、子どもや保護者にとっても関心が高いことと考えます。

東委員

國安委員も話していましたが、授業や授業以外の活動、部活動指導に力のある魅力のある教員がいるのも、高校を選んでもらえる一つのきっかけにもなると思います。加えて学級運営も上手と言いますか、部活動とか学校活動以外にも純粋に高校に通いたいという気持ちにさせてくれる教員がいてくださると良いのかなと思います。

飯田町長

教科指導も大切ですが、部活の指導者というのは子どもたちから見ると選択するうえで有力なポイントと思われます。もう一つは教員による各中学校を訪問等による活動も必要と考えます。

意見交換につきましてはこの辺で閉じさせていただきます。

次は、4番のその他の部分になりますけれど、何かございますか。

瀧本委員

学校教育関係の施設に関して、幕別町には小中学校あわせて14校あります

が、既に築年数で 40 年になっている施設もあります。改修、大改修を含めて、計画的な改修に向け具体的な組み立ても必要だと思いますので計画的に進めて行くことが望ましいと思います。

飯田町長            そのとおりです。改修に伴う補助金の上限額 4 億と聞いていますが、採択の状況はどうですか。

田村教育長        昨年は厳しい状況でした。需要数が多くて国の補助金が足りなくなる状況になっていました。市町村だけの単独では実施できませんので、国の補助金が必要となります。

山岸部長            交付金で申しますと、交付金事業で最低事業費が 7,000 万で最大が 2 億です。その事業費に対して交付金は 1/3 が基本ベースで、超える部分は地方債の発行が認められ、地方債については 90%まで充当できます。交付税についても 60%交付税措置される記載があります。先ほど教育長からお話があったように、交付金は 29 年度相当確保されているようですが、29 年度以降は見えない段階だと聞いております。

飯田町長            いずれにしても学校施設については、冒頭に申し上げたとおり、昭和 50 年代に建てられたものが非常に多いので、もう待てないところに来ているのかなと感じています。

---

飯田町長            以上を持ちまして第 1 回幕別町総合教育会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。